



世界は広い 広い視野を持とう！ 世界に羽ばたけ里っ子



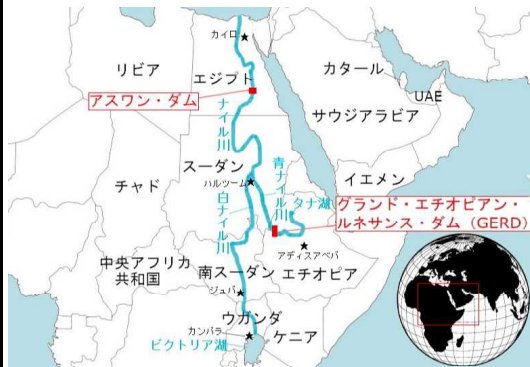
これからの時代、英語 は大切です！ (その1)

「ん～、里っ子たちの弱点って何だろう？」まじめにそんなことを考えてみました。

知っていますか？ 現在の里小学校、諸検査によると県の中で、学力や体力、高い方なんです。

それは、ネットやゲームにはまらず、小学校1年生から年間300冊前後の読書を継続していることや、豊かな自然環境の中で、朝活などを、みんなががんばっていること。その他多くの要素が高めよう、高まろうとしている結果なのだと思います。 実は、**すごいんです！**

そんな中、可愛先生から、「子供たちって、世界のことであんまり知らないんですね・・・」との話がありました。「世界で一番長い川は？」と質問したら



答えは

← これ！ 場所とかイメージできますか？

ちなみに、面積が一番広い川は、アマゾン川です。

考えてみれば、みんなはこの甑島に育ち、橋がかかるまでは、下甑島にもなかなか行く機会はなかったかもしれません。鹿児島県だって、線で見ても海の向こうが、川内や串木野、その奥が鹿児島市、新幹線に乗って行くところが福岡で、ずー

っと遠いところが、大阪、その先のずーっとずーっと遠いところが東京？ そういった感覚？ なるかもなあ と思いました。だいたい、里はみんなのお家、周囲一キロ以内に集まっていますし、山一つ越えて中津まで行くと、普段の生活はことたりてしまいますものね。

みんなが生きる時代は、もっともっと世界各国との距離が時間的に近づき、今まで以上に世界の人々と手をつなぎ協力して、多くの困難に立ち向かわなければならない時代に入るはずですよ。

そして世界のことを知れば知るほど、今まで当たり前のように生活していた甑島のすごさに、気づけるのではないのでしょうか？ さあ、みんな地図を広げて、世界を見てみましょう。そこには未知の冒険の世界が広がっていますよ。

そこで、世界に羽ばたく上で欠かせない条件、わかりますか？ それは、言葉！ 次の時代を切り開いていくために、**英語** は欠かせないと言われていきます。

ですから、数年前まで小学校で教えていなかった、英語 が小学校でも教えるようになってきたのです。

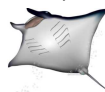


(裏面は、英語 が苦手なために、初海外旅行でとんでもない経験をしてしまった私のお話です。)

みんな ^{きょうわこく}パラオ共和国 と ^{れんぽうきょうわこく}ミクロネシア連邦共和国 って聞いたことありますか？

私が初めて海外旅行に出かけたのは、^{たねがしま}種子島で音楽教師をしていた9年前の12月27日～翌年1月3日の8日間、上の2カ国をまわってきました。なぜパラオとミクロネシアなのか？ それは↓パラオとヤップ分かりますか？



当時、プロのダイバーとしての^{しかく}資格をとった私は、種子島の海をホームとして、ゲストを^{あんない}案内することがありました。
(お家) (お客人)
ただ、種子島の海のよさを伝えるのに、世界の海を知らない^{みりよく}と、“本当の意味で種子島の海の魅力は伝えられない”そう考えました。そうであれば、^{せかいさいこうほう}世界最高峰とも言われるダイビングの^{せいち}聖地、パラオの^{もぐ}ブルーコーナーを潜ってこよう。そしてミクロネシア ヤップ島で  ^{この子たちに会っ (マンタ[むた])}こよう。そう思ったのです。パラオやヤップは、日本の^{せきどうふきん}ずつと南の赤道付近、^{となり}フィリピンの隣(東側)です。

一人旅ですが、旅行会社を通して個人のダイビングパック旅行(航空券やホテル、^{げんち}現地のダイビングショップによるダイビングガイドすべて含まれるもの)なので、^{しんぱい}なににも心配なく成田空港から^{けいゆ}グアム島を経由してパラオに入り、^{むか}空港で迎えに来た^{みちび}現地の日本人スタッフに導かれ、パラオの海で4日間学びました。(機会があれば、^{ようす}パラオの海の様子も紹介しますね)。

^{もんだい}問題が発生したのは、^{はっせい}次の^{もくてき}目的地、^{とうちやく}ミクロネシアのヤップ島に到着した時のことです。まず、^{だんかい}この段階で、**私はお金を持っていない!!** ^{せわ}パラオ出る前に、お世話になった方たちを^{ちそう}ご馳走したり

していたら、手持ちが50ドル(5000円ちょっと)しかない。しかもパラオは、国に入るときと出るとき^{ぜいきん}50ドルの税金を^{ひつよう}払う必要があるのです。**わぁ!** ^{げんきん}ただ現金



で、日本のお金は持ってましたから、「**まあ、ヤップ島着いたら空港で両替しよう!**」ぐらいの^{あま}甘い考えでいたんです。

^{いっしょ}パラオで一緒だった日本人のみんなは、グアム行きに乗ったので、日本人では一人だけヤップ島行きに乗りました。ヤップ島に到着したのは、^{まよなか}真夜中の午前3時半。ちいさな島の^{むか}空港ですから、^{むか}迎えもすぐに分かるはず…なのに、**迎えがない???** しかも空港閉まる? どうなるの私???

(ここからサバイバルが始まります…
つづきは次号で)

写真は、ヤップ島の石貨(上左)他の写真はヤップ島で撮影したマンタの写真です。(マンタは教室の1/4ぐらいの大きさ!)

